

海星☆11月

薩摩川内市立海星中学校
令和元年 11月 25日 発行

「感動をありがとう」

校長 淵上 盛人

日本中を、いや、世界中を感動の渦に巻き込んだラグビーワールドカップ日本大会が、日本代表を破った南アフリカの優勝で幕を閉じました。日本代表が、強豪チームを次々に破り、初のベスト8進出を果たしたこともすごいことですが、日本人のおもてなしの心が世界中から称賛を浴びたことがすごいと思います。まさしく、日本中が「ONE TEAM」になった40日間だったのではないのでしょうか。4年に一度、いや、一生に一度の日本大会と聞いていましたが、もしかしたら、また、日本での開催があるかも知れません。この盛り上がりで、多くの人が、また4年後が楽しみにになったのではないのでしょうか。

さて、海星中学校でも、11月2日(土)に「文化祭」があり、来賓を始め、保護者、地域の方々等、多くの方が参観してくださり、「感動した」という感想をたくさんいただきました。19名という少人数ではありますが、運動会が終わってからの約1ヶ月の間に、合唱、合奏、劇、ダンス、英語発表、郷土芸能と、初めて挑戦するものや、朝・昼休み・放課後の練習、郷土芸能保存会の皆さんに指導してもらった夜の練習など、超ハードスケジュールの中で一人何役もこなしてきました。そんな練習風景や生徒に寄り添っている先生方、地域の方々の支え等が脳裏に浮かび、講評を言う前に、目頭が熱くなり、つい言葉が詰まってしまいました。こんな感動の「文化祭」が実施できたこと、生徒、先生方、保護者、地域の皆さんに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

この2つの感動を振り返ったときに、「ラグビー日本代表」と「海星中学校の19名の生徒」に、何か共通するものがあるような気がしました。それは、「一人一人が持てる力を出し切り、チームとしてまとめ、前を向いて我武者羅に頑張っている姿」があるということです。2学期は、学校

生活の中で2大行事と言われる「運動会」「文化祭」があり、非常に厳しい学期でもありますが、ハードルが高いためこそ、充実した時間を過ごすことができ、思い出に残り、何よりも「やりきった」という達成感が、大きく成長させてくれるのだと思います。

文化祭で咲き誇った19の笑顔が、これからも海星中学校に咲き続けるように、様々な教育活動に取り組んでいきますので、生徒、職員、保護者、地域の方々の ONE TEAM をよろしくお願いします。

第42回 文化祭

11月2日(土)、「咲～19の輝く笑顔～」のテーマのもと第42回文化祭を実施しました。英語スピーチ、学年劇や合奏・合唱、ダンス、中期交流学习発表、郷土芸能等多様な内容を先輩が後輩に教え、協力しながら練習に励んできました。当日は1学期に交流学习を行った川内北中から吹奏楽部16人が訪れ、3曲アンサンブルを奏でてくれました。本校生徒は、本番の緊張感、やり遂げた満足感、達成感を十分に味わえ、大きな自信につながる文化祭になりました。また、指導していただいた、郷土芸能保存会の方々に感謝申し上げます。



～保護者・地域の方のアンケートより～

- 19人の生徒で数多くの発表があり、練習をよく頑張ったのだと感心しました。郷土芸能の発表も素晴らしかったと思います。たくましく賢い成長の姿を感じられた。
- テーマ「咲・・・」の通り一人で多くの演目をこなし、皆さんの笑顔と練習の成果がすべてでいた文化祭。ありがとうございました。
- 少ない人数で発表できたことは、子供達にとってよい経験だったと思います。先生と子供達の関係もとてもいいことが伝わってきて感動的な文化祭になりました。



芸術鑑賞会「青年劇場 ～あの夏の絵～」

11月11日(月)、芸術鑑賞会、青年劇場「あの夏の絵」が開催されました。生徒は事前のワークショップで、演技指導や表現力を付けて頂きました。その中で7名が当日の舞台上、コミカルな演技を披露しました。プロの演技の素晴らしさ、原爆の悲惨さを学び、感慨深い一日を過ごしました。



～生徒の感想より～

- 戦争の恐ろしさを改めて知ることができ、とても勉強になりました。すごかったです。もっと、平和について意識して過ごしていきたいです。(1年 Mくん)
- 自分の希望で劇場にでた。楽しかった。プロの人たちは演技が上手かった。もう一度機会があれば、鑑賞もしくは出演したい。(2年 Kくん)



ふるさと職場体験学習

社会の一員としての自覚や職業観・勤労観を育成するために2日間にわたって、地域の事業所の協力の下、職場体験学習を実施しました。仕事の大変さや、保護者や地域に「感謝」を感じる良い機会となりました。3年生は3年間で3事業所を6日間体験したことになります。将来の進路選択に役立ててほしいです。



～生徒・事業所アンケートより～

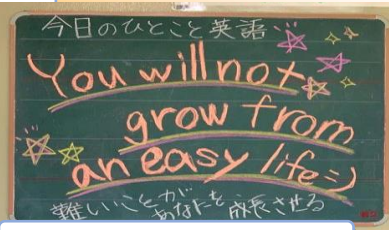
- 2日間で大事なことを学びました。それは、感謝です。こんな大変な仕事を毎日している父母にもっと感謝したいと思いました。(1年 Kくん)
- 礼儀正しく、お客様、スタッフに対してもしっかりと挨拶できて、仕事も自ら積極的に取り組んでもらい、とても2日間助かりました。(事業所)
- 今回支援員(介護職)の体験をしていただきました。いろいろな方とふれ合い、違いを認識し、相手の立場になって物事を考え、思いやりの気持ちを醸成することに役立てていただけたらと思っています。(事業所)

～ 各種表彰及び大会結果 ～

- 令和元年度 JA 共済作品コンクール(書道の部) 銅賞 3年 Fさん
- 第69回全国小・中学校作文コンクール県審査(読売新聞社主催) 佳作「憧れのごったんと共に」 3年 Fさん
- 薩摩川内市理科作品展
 - 特選「暑い夏 紫外線カットを探れ」 2年 Iくん
 - 特選「無回転サーブの謎を探れ」 2年 Mさん
 - 特選「探れ! Δはどう変化するの?」 3年 Fさん



月	日	曜	主な行事
12	2	月	人権週間～8日 期末テスト～4日
	4	水	薩摩川内元気塾「榎協精工 ロボット工学」
	8	日	助八古道歩こう会
	11	水	避難訓練
	13	金	持久走大会③④校時 授業参観 全体・学級PTA 給食試食会
	21	土	甕島の中学生が集まる交流会 剣道錬成大会～22日
	22	日	門松作り 青瀬地区餅つき
	24	火	終業式 大掃除
	25	水	冬期休業 ～1月7日



【英語コーナーの掲示より】